

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 【新】自然公園活性化推進事業費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境エネルギー生活部 環境生活政策課 自然環境活用交流促進係

電話番号：058-272-1111(内2927)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 17,638 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	17,638	8,268	0	0	0	0	0	0	9,370
決定額	17,638	8,268	0	0	0	0	0	0	9,370

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

これまで、乗鞍岳、槍・穂高連峰、奥飛騨温泉郷など自然、観光、文化等多彩な魅力を有する中部山岳国立公園（岐阜県エリア）周辺への誘客や、保護と利用の好循環を促進するため、県、高山市、地元関係団体等により中部山岳国立公園活性化推進協議会を設置し、基本構想（平成29年7月策定）及び第二次基本計画（令和6年7月策定）に沿った活性化の取組みを推進してきた。

今後、御嶽山の国定公園指定（R8.3予定）や、第10回「山の日」記念全国大会の開催を契機とし、推進してきた事業を持続可能なものに発展させるとともに、御嶽山国定公園等へ横展開を図る。

（2）事業内容

① 自然公園活性化推進事業 11,500千円

協議会（官民連携）により、高品質な自然体験プログラム、広域周遊ツアー、即戦力のガイド人材育成等を実施し、地域による自走化を支援。

② 御嶽山国定公園指定を契機とした情報発信 5,036千円

山開き祭などの機会を捉え、御嶽山の情報発信を行うとともに、がんだて公園・小坂の滝において県内小学生向けの自然環境学習を促進。

③ 事務費 1,102千円

事業実施に必要な事務費。

（３）県負担・補助率の考え方

①については、高山市の地域振興に資することから、高山市も協議会に同額を負担予定。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	861	業務旅費、費用弁償
需用費	410	事務用品、公用車燃料費
役務費	10	郵送料
委託料	4,736	御嶽山の情報発信等
その他	11,621	協議会負担金、公用車ETC
合計	17,638	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略〔３－（１）地域の魅力の創造・伝承・発信〕
〔３－（２）次世代を見据えた産業の振興〕

岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想（平成29年7月策定）

第二次岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画（令和6年7月策定）

（２）国・他県の状況

環境省の「国立公園満喫プロジェクト」に基づき、中部山岳国立公園南部地域をはじめとした自然公園の活性化に取り組んでいる。

（３）後年度の財政負担

県、市、地元関係団体が連携、役割分担しながら実施する。

（４）事業主体及びその妥当性

事業主体：県、市、協議会が連携、役割分担しながら実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

自然公園の多彩な魅力を活用した利用促進、活性化を図り、保護と利用の好循環を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

天候や社会情勢など様々な要因により入込数が変動するため、指標は設定しない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

事業の自走化による持続可能な地域づくりを進めることが必要。

(次年度の方角性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

地元関係者と連携して、活性化に向けた取組みを継続的に進めることとともに、活性化事業の今後の在り方について検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】